

陸前高田プロジェクト

〈概要〉

- ・東日本大震災被災地の当時と復興について学び、地域の方と海外大学生と共に考える
- ・スタンフォード大学等アメリカの大学/香港大学/シンガポール国立大学の学生と英語で学ぶ協働プログラム
- ・陸前高田市における4泊5日の現地研修を実施

〈目的〉

- ・陸前高田市の被災時の状況やこれまでの取り組み・現状を知る
- ・市や市民の方々の抱える課題を共有する
- ・海外大学生も交えたディスカッションや協働作業を通し、多様な視点で課題について深く思考し共有する

【募集サイト】 申込方法等募集情報詳細はポータルサイト「RIKKYO PORTAL」内の本科目専用募集サイトに掲載

https://portal.rikkyo.ac.jp/ghrd/rikuzentakata/program_information ※URLは変更となる場合あり

〈選考／実施プログラムに関するスケジュール〉

4月下旬～5月初旬	当年度募集情報公開
5月28日(木)17:00	応募締切
6月上旬	選考(書類選考・面接選考)
6月中旬	参加者決定
7月11日(土)	事前研修(立教生のみ)
8月23日(日)	事前研修(池袋キャンパス) ※海外大学生合流
8月24日(月)～8月28日(金)	現地研修(陸前高田市)
8月29日(土)	事後研修(池袋キャンパス)

〈応募条件〉

- ・春学期に在学していること(休学する者は参加不可)。ただし、在学留学等の事由により春学期開講科目の履修資格がない場合は本科目への申請は受け付けない。
- ・事前研修, 現地研修, 事後研修すべてに出席できること。

〈履修登録に関する事項〉

- ・派遣が決定した学生には、春学期期間外科目として大学が「その他」登録を行う。改めて登録手続きをする必要はないが、履修登録後に更新される履修登録状況画面を各自必ず確認すること。
- ・履修対象: 1～4年生
- ・本科目は博士課程前期課程の学生も申請することができるが、参加者の選出に当たっては学部生の参加を優先する。修得単位は修了要件単位には算入されない。

- ・在籍 8 学期目以降の学生は履修登録不可
- ・登録済の別の科目（集中講義科目，時間割の設定されていない科目等）と実施日時が重複する場合履修登録不可

〈履修登録上限単位数への算入方法〉

本科目は春学期期間外科目であり，その履修登録単位は全学共通科目総合系科目として年間の履修登録上限単位数（12 単位）に算入される（学期ごとの上限には含まれない）。

例）

春学期における総合系科目の履修登録上限（6 単位）をすでに履修している場合でも、本科目以外の春学期期間外科目で総合系科目の年間履修上限単位（12 単位）に達しておらず、かつ各学部の定める春学期の履修登録上限に達していない場合は、本科目の選考合格ののち履修登録可能。

〈成績〉

本科目の成績は「合格」または「不合格」とする。

〈留意事項〉

- ・プログラムにおける使用言語：英語。英語資格試験のスコアの基準は設けていないが，参加者には，すべて英語で実施される授業において必要なコミュニケーションを英語で行う意志と言語力が求められる。
- ・科目の目的を十分に理解した上で応募すること。

〈備考〉

- ・参加費：6 万円程度（含：交通費・宿泊費・一部食費等）

※「陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金」申請対象プログラム

（2025 年度実績：38,000 円支給，参加者負担額：28,000 円程度 ※年度毎に異なる）

- ・本科目に関する詳細は募集サイトおよび募集要項を必ず確認すること。

以上

